

## 定例記者会見

日時 令和4年5月13日（金）

午後2時30分から

場所 市役所3階 大会議室

### 1 市長あいさつ

日頃から、記者の皆様には、越前市政にお力添えやご理解、ご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

午前中、南地区の人が平成20年から植え続けている環境美化活動があって、見に行ってきた。非常にきれいな紫色の花が咲いている。

昨日、大河ドラマ、紫式部が主人公でどういう内容になるか分からないが、選ばれたことを大変うれしく思っている。

県の大河ドラマの誘致をやっていた。渋谷にも何回か行って、戦国か幕末かということで、福井にゆかりのある人物をいろいろPRしたり、植松三十里さんには、家康の子という小説を書いてもらったり、NHKの人には名作がないとドラマにならないと言われて、まず本づくりから始めなアカンと思ってやったことなどを思い出しながら、結果として、今回、紫式部がゆかりのある人物として、越前市にとって非常にありがたい話になった。しかも、福井では、北陸新幹線が開業する年で、開業に向けた準備行為に弾みがつく。紫式部公園には金の像とか、紫ゆかりの館もきれいにできている。源氏物語アカデミーといったアカデミックな文化活動が長く続くなど基盤がある。市民にとっても思い入れが強いので、そういったものを生かしながらやっていかなければならない。

昨日県が発表したデスティネーションキャンペーンもいよいよ始まるということで、連動して丹南の市町や県と一緒に盛り上げたい。

なるべく早く市役所の中にそれをやる体制を作って、その次は、市民の皆さまも参加するような体制を作って始めたいと思っている。

特に、ドラマが始まる頃までが大きな勝負だと思っているので、それまでにしっかりやりたいと思っている。

## 2 発表項目

### 1 令和4年度6月補正予算（案）の概要

資料 1

では、本日の発表項目についてであります。6月補正予算（案）の中身はご理解いただいていると思うので、公式に数字を述べさせていただきます。

6月補正予算の補正額は、マイナス3億7,992万円です。補正後の一般会計全体は、363億6,708万円となり、補正後の一般会計予算総額は、補正前に比べ1.0%の減となります。

マイナス補正の要因というのは、これは、新しい公立認定こども園の建設工事が資材の高騰の関係で、工事のスケジュールが後ろ倒しになったのが主な要因で、継続費の期間を2年間から3年間に変更し、事業費全体は増えますが、本年度の予算としては、減額となる結果であります。

継続費関連を除く経済対策等の補正額は、3億491万4千円の増額となり、補正前に比べ0.8%の増となり、令和3年度の6月補正と比べても大きな額の補正額となります。

コロナ禍における原油価格・物価高騰への支援や経済対策として、低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業に加え、販売農家対象の燃油・肥料高騰緊急対策事業を実施いたします。

また、「えちぜんし割」クーポンの追加発行を行います。そのほか、国等の内示を受けたコミュニティ助成事業や雪寒地域道路整備事業などに必要な額を計上しました。

中身については議会等で議論があると思われませんが、本日は取材等ありがとうございます。ご協力をよろしく申し上げます。

## 3 質疑要旨

【質問】物価高騰を受けての販売農家対象の燃油・肥料高騰緊急対策事業について、補正に至った経緯は。

【回答】一つは米価が下がっていて農業経営を圧迫している状況がある。それに加えて燃料とか肥料とか物価が上昇している現状があるの

で、今後の状況が見えない中、通年分で予算計上というよりも、その後の状況を見ながら対応できるように、まずは春先の必要な費用に対応するという事です。

**【質問】** 一昨日、地域ミーティングが開催されましたが、従来と変わられたということで、1回目を終えての感想は。

**【回答】** お互いが緊張していた。もっと話せると良かったが、陳情・要望の場になると建設的ではないのでお互い楽しくない。いろいろと課題をいただいて、それを考えるということにもっていこうと思っているが、まだ試行錯誤の段階である。地域ミーティングは、自治振興会というオフィシャルな組織とのやり取りである。ふるさとミーティングという小規模なグループを対象としたものも併せてやっていき、皆様の声を聴かせていただく。一つのやり方で全て解決するというだけでなく、いろいろな機会にオフィシャルな、公的な立場の人と意見交換をする。様々な活動報告もいただきましたし、自治振興会の次の役員が見つからないとか、仕事が多くなっているとか、課題は多分共通だと思う。自治振興会と市の関係が、前向きに一緒に成果が上がるように、そういうきっかけになれば良いと思う。

**【質問】** 最初にデスティネーションキャンペーンとか、新幹線の取組みで盛り上げるキャンペーンとか体制を作りたいとか話をいただいたが、いつまでにどういったものを考えているのか。

**【回答】** デスティネーションキャンペーンは県とJRの観光キャンペーンで、越前市としてやるのは、紫式部とっていて、今までにこれまでやっている。市の幹部の皆さんは、若い頃に紫式部関係でいろいろ楽しいものを行っているので、そういった経験を生かしたり、あるいは、市民の中に一所懸命にやっておられる自主的な思いを持っていらっしゃる方がいるので、そういった思いを集めるような場であったり、市役所の中ではそういうことを議論する場を、市民の皆さんと一緒に活動をするような組織を早くつくりたい。市役所の組織は、来月にもと思っている。そこで議論して、市民の

方を巻き込んだ体制を作って、できるところからやっていく。懸  
垂幕もやっていきたい。